

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

第七回本会議

令和 7 年 1 月 22 日 (水)

(議事次第)

議題

1. 学園祭決算報告書の承認について
2. 新入生歓迎活動に関する申合せについて
3. 筑波大学 新入生歓迎活動規程について

タイムテーブル

当日の時刻	予定した日程
18:32	開会
18:32~18:48	出欠確認・資料確認
18:48~19:30	議題 1
19:30-19:37	議題 1 の採決
19:37-19:55	議題 2
19:55-20:04	議題 2 の採決
20:04-20:39	議題 3
20:39-20:53	議題 3 の採決
20:55	散会

出席者

学類等代表者 47 名 うち遅刻者 3 名 詳細省略

資料一覧

議題 1 「学園祭決算報告書の承認について」

- ・議案書「学園祭決算報告書の承認について」 P24012-00
- ・資料 01 「筑波大学学園祭実行委員会 令和 6 年度決算報告書」 P24012-01
- ・資料 02 「第 50 回筑波大学学園祭「雙峰祭」二次予算案」 P24012-02
- ・資料 03 「第 50 回雙峰祭総括報告書」 P24012-03
- ・資料 04 「目的の評価」 P24012-04
- ・資料 05 「第 50 回目的の評価補足資料」 P24012-05
- ・資料 06 「第 50 回雙峰祭参加者アンケート」 P24012-06

議題 2 「新入生歓迎活動に関する申合せについて」

- ・議案書「新入生歓迎活動に関する申合せについて」 P24013-00
- ・資料 01 「新入生歓迎活動に関する申合せ」 P24013-01
- ・資料 02 「筑波大学新歓申合せ 新旧対照表」 P24013-02

議題 3 「筑波大学 新入生歓迎活動規程について」

- ・議案書「筑波大学 新入生歓迎活動規程について」 P24014-00
- ・資料 01 「筑波大学 新入生歓迎活動規程」 P24014-01
- ・資料 02 「筑波大学 新入生歓迎活動規程 新旧対照表」 P24014-02

以下、議事録

開会

○近藤 拓未（議長）

これより、令和6年度第七回本会議を開会する。

出席確認・資料確認

○近藤 拓未（議長）

出席者を確認する。慣例に基づき、読み上げられた学類に在籍する代表者の挙手をもって出席とする。

円滑な議事進行のため、参加者においては、適宜資料を確認されたい。

出席確認の詳細は省略

議題

○近藤 拓未（議長）

議事次第に則り、議題1「学園祭決算報告書の承認について」にうつる。学内行事委員会に議題の説明をお願いしたい。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

議案1について、P24012-00「学園祭決算報告書の承認について」を見ていただきたい。

令和6年度学園祭の決算報告について、当会議と学生生活支援室による決定である「学園祭実行委員会について」第3項第5号に基づき、学園祭決算報告書の承認の是非を諮る。当議案は資料01の「筑波大学学園祭実行委員会 令和6年度決算報告書」の承認を求めるものである。資料01は、学園祭実行委員会が実施した学園祭の決算報告であり、当会が2024年12月11日に承認した筑波大学学園祭総括報告書の一部となっている。資料02から資料07は参考資料である。

参考人の学園祭実行委員会から説明をお願いする。

○榎 俊太朗（学園祭実行委員会 財務局長）

学生分担金の部分、どの学類からいくらの支払いがあったか、を示す欄であるが、空欄となっている。これはデータを持っている学生分担金担当と現在連絡が取れず、詳細な情報が得られない状況にあるためである。

資料02「筑波大学学園祭実行委員会 令和6年度決算報告書」の「2.予算との比較」について、複数の誤りがあったため、訂正する。「収入の部比較詳細」において「学園祭学生分担金」の増減が空欄となっているのは「増加」に修正する。「支出の部比較詳細」において「当期繰越金」の増減が空欄となっているのは「大幅に減少」に修正する。大幅な減少の理由としては、パンフレットの売り上げが想定を下回ったこと、昨年度の著作権が未払いであったことが挙げられる。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

議長と相談の上、先ほどの訂正箇所は修正したものを承認する。

○近藤 拓未（議長）

資料の確認の時間を5分間とする。質問があれば挙手してほしい。

○近藤 拓未（議長）

オンラインの音声不具合を確認している。対応を検討するので少々お待ち願いたい。
不具合が直り次第、質疑応答を再開する。

○近藤 拓未（議長）

ただいまオンラインでの音声の疎通が一応確認できた。ただ、はっきりとした音声が取れているようではなさそうなので、対面で発言する方は、はっきりとした音声でゆっくり喋っていただくようお願いする。

それでは、改めて質疑応答を再開する。19時5分まで資料確認および質疑応答の時間とする。質問等がある方は挙手をしてほしい。

○近藤 拓未（議長）

医学類、相川さん。

○相川 大醒（医学類）

収入詳細の公式グッズ販売のクリアファイルについて質問する。予算詳細収入の部に書かれている売上個数が販売セット数よりも大幅に多いのだが、これはさらに追加でクリアファイルを製作して売ったということか。

○近藤 拓未（議長）

それでは学園祭実行委員会、榎さんより回答をお願いする。

○榎 俊太朗（学園祭実行委員会 財務局長）

ただいま確認するので少々お待ちいただきたい。

○近藤 拓未（議長）

回答を待つ間にその他に質問がある方はいるか。もし質問等がある方がいたら挙手を願いたい。

学類等代表の方は今、質問等を待っている間に次の資料を読み進めてほしい。本日議題は3つあるので、次の資料を読み進めていっていただければと思う。

オンライン等で途中、質問等がある方は手を挙げてほしい。出席がまだ確認されていない方がいたらそちらも手を挙げてほしい。

学園祭実行委員会様、回答に時間がかかることが見込まれる場合、次の議題の審議に進み、回答が確認でき次第改めて質疑応答を再開させていただくこともありうることを留意願いたい。

（学園祭実行委員会から挙手あり）学園祭実行委員会、回答願いたい。

○榎 俊太朗（学園祭実行委員会 財務局長）

クリアファイルの販売数が予算より多い点について、個人協賛者に渡す予定だったクリアファイルの数が少なくなったことによって販売数が増加したためだと思われる。

○近藤 拓未（議長）

他に質問がある方はいるか。

○高橋 蓮（人文学類）

クロス集計について質問する。クロス集計で前期繰越金と当期繰越金の項目がある。予算案では前期繰越金と当期繰越金が別枠で記載されていたが、決算では支出の部と収入の部に同じように記載されている。この理由は何か。

○榎 俊太朗（学園祭実行委員会 財務局長）

予算は分けて決算では一緒というのは、予算作成時に財務課の方に提出する資料の様式上、繰越金の方という項目がそれぞれ収入と支出によるというような話があったので、そちらのように変更している。以上である。

○近藤 拓未（議長）

その他に質問等のある方はいるか。

○カーニー 晴希（教育学類）

決算報告書ではセットDに2次予算案には記載のなかった動く耳帽子が追加されていると思うのだが、こちらの変更がいつ行われたか、またはなぜ行われたかについてお聞きしたい。

○近藤 拓未（議長）

学園祭実行委員会、回答お願いする。

○湯浅 晴彦（学園祭実行委員会 財務局）

こちらは元々セットDに入れる予定だったが、提出時の予算の方では記載していなかった。

○近藤 拓未（議長）

19時20分に質問等がなければ採決を行う。はい。医学類、相川さん。

○相川 大醒（医学類）

クリアファイルのことで度々で申し訳ないのだが、支出の方を見てみるとクリアファイルがグッズとしての販売および協賛への返礼品とするために、数量が1400枚作っている。しかし、例えば収入の方の協賛を見てみると、協賛がいくつかあるうちの個人協賛で、66人で、そこにパンフレット協賛などいろいろ加えて、普通に単純に1人または企業1社に1枚返礼としてファイルを渡したら1400枚もいかないように感じるのだが、これは具体的にどのように返礼品を渡していたのだろうか。

○近藤 拓未（議長）

その他に質疑応答、質問等ある方はいるか。19時半には議事進行の都合上、質疑応答を終了する。

現在、学園祭実行委員会が回答を確認している。この議題に関する質問等がない方は次の資料を読み進めてほしい。

では今、相川さんからの質問について回答を確認している最中だが、医学類の相川さんからの追加の質問がある。

○相川 大醒（医学類）

決算（資料01）の3番の収入詳細についてお尋ねする。今回、雙峰祭グランプリの副賞やよみうりランドのチケットなどがあったと思うが、よみうりランドの協賛は今回の協賛金一覧だと、どこに含まれるか。

○湯浅 晴彦（学園祭実行委員会 財務局）

こちらの決算書類に書いているのは、協賛の中でも金銭をいただくものとなっている。よみうりランドからはいただいていない。物品を協賛していただく形態であり、そちらの方は決算書類には記載していない。他にも、福引や雙峰祭グランプリでの景品に関しては、こちらには記載していない。

○近藤 拓未（議長）

ありがとう。その他、質問等ある方はいるか。

19時30分に先ほどの相川さんからの質問について回答が確認できなかった場合は、質問への回答がなかった、回答なしというのが回答であるというふうに扱って審議を進める。表決に進む。

（挙手があったので）

先ほどの医学類、相川さんからの質問について学園祭実行委員会の回答をお願いする。

○榎 俊太朗（学園祭実行委員会 財務局長）

ファイルは個人協賛の方に対する返礼に加え、1000円協賛をしてくださった個人の方、例えば大学の先生方や教職員の方々に対しても返礼としてお渡ししていて、その分として1000枚ほど広報宣伝局に対して発注していた。それらを合計して1400枚になったのだと認識している。

○近藤 拓未（議長）

19時30分に質疑を締め切る。質問がある方は手を挙げてほしい。

19時30分になったので質疑応答を終了する。

これより採決に移る。

採決の流れは省略

○近藤 拓未（議長）

当議題の審議開始から30分以上経過してから参加した参加者を除いた現在の出席者数が44名、投票者数が41名、賛成40票、保留1票につき賛成が過半数に達したので、本議題は承認された。

それでは学園祭実行委員会さんは退出していただいても構わない。

○近藤 拓未（議長）

続いて議題2に移る。議題2、「新入生歓迎活動に関する申し合わせについて」、学内行事委員会委員長、國崎さん、説明をお願いする。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

引き続き、学内行事委員会から説明させていただく。学内行事委員会委員長の國崎である。議案2の資料をご覧いただきたい。末尾番号00のものが議案書になっている。議題について説明する。この議題は、筑波大学の新入生歓迎活動および勧誘活動について定める筑波大学新入生歓迎活動に関する申し合わせの承認の是非を図るものである。当議案は2024年11月13日に執り行われた第五回本会議において保留となつた議案を再提出するものであり、資料01の「新入生歓迎活動に関する申し合わせ」の承認を求めるものである。今一度説明すると、この申し合わせは三系と全代会との間で、新入生歓迎活動および期間、運営主体である新入生歓迎委員会などの組織について定めたものである。また、資料末尾02は昨年度の筑波大学新入生歓迎活動に関する申し合わせとの新旧対照表で、参考資料であるため、その是非を問うものではない。

こちらについて先週開かれた意見聴取会では、第5条の新入生歓迎活動の中に支援活動というものを含めるか含めないかというところを主な論点とした。

そこで出た意見を踏まえて、本申し合わせの内容が運営に直接関わっている部分もあるため、今年度中の早急な改正が望まれること、また全代会とともに共同発案者である新入生歓迎委員会様との間でその解釈等を鑑みて合意を図る、本会議での承認を最優先とするという観点を踏まえ、学内行事委員会の方で支援活動を含めない案をこちらの本会議に提出させていただいている。

次に質疑応答に移る前に、こちらも参考人としてご出席いただいている新入生歓迎委員会さんの方から何かあればご説明をお願いする。

○近藤 拓未（議長）

新入生歓迎委員会様、お願いする。

○佐藤 翔哉（新入生歓迎委員会）

本議題に関する審議をいただきありがとうございます。先ほど他のご説明もいただいたものも含めて軽く本議案の内容について説明する。本件は11月に全代会様の方で審議をいただいた上で、新たに三系および全代会と一緒に1からまた作り直した議案となっている。順次説明させていただく。表紙の内容の目的としては、昨年度から体制がまた大きく変わったため、そちらに合わせる目的で作成させていただいた申し合わせの改正案である。基本的には語句の修正や、全代会に合わせた修正を行っている。

変更点を上から説明していく。こちらに関しては新旧対照表、参考資料をご覧になるとわかりやすいかと思う。まず第1条、目的のところ、新入生歓迎活動に修正をした。続いて第2条、新入生歓迎委員会実行計画書を、誤植と捉えて運営計画書に訂正した。続いて第5条、こちらが、先ほどご質問があった新入生歓迎活動の定義というものを、もう少し文面を整理して追加したものとなっている。第6条、新入生歓迎活動の定めを適用される団体の記載を変えた。大幅に対象の団体というものを変更しているものではない。続いて第7条、新入生歓迎委員会の組織について記載内容を少し整理をして、修正している。特に大きな変更点としては、新入生歓迎委員会は昨年度、三系と全代会からなる組織だったところを、今年度より全学的な募集を開始して学生を集めた。そのため、全学募集ということが記載されているかと思う。三系および全代会からの選出は引き続き行うとともに、全代会が元々昨年度は3名の選出と記載しているが、実態に合わせて5名に修正した。また、三系の役員の任期が1年であるにも関わらず、全代会員の任期は2年となっていた点について三系から統一したい旨を受け取っているので、三系および全代会から選出される構成員の任期を統一した。続いて新入生歓迎委員会の内容について、役員規定である。役員については選任に関する規定と任期に関する規定を新たに設けた。また新歓祭について、前年度「入学し以後の最初の土曜日」と規定していたが、本年度は入学式が土曜日であり、次の土曜日となると時期が離れてしまうことから、4月11日金曜日に予定していることもあり、今後のことと鑑みて翌年度における最初の土曜日と、決めるのではなくて少しフレキシブルに選択ができるように修正した。続いて第11条は名称の訂正である。続いて第12条は運営計画書および予算を提出する組織を、元々は三系、課外活動団体会議および全代会とされていたが、現在ここ数年、課外活動団体会議というものが開催されていないため、三系および全代会に変更させていただいている。第14条2項についても同様である。

第15条は三系と全代会の申し合わせで規定する内容ではないため削除させていただいている。こちらの内容の方は運営計画書や新歓規定の方に記載している。第17条の新歓規定の遵守というところは、名称が誤っていたので、新入生歓迎活動規定と正式なものに変更した。

あわせて、全代会から要望があった点だが、元々の第17条の「全ての学生団体等は新歓規制を遵守しなければならない。」という文言は削除した。第18条は誤植の訂正である。また、改廃の項についても先ほど

説明したものと同様であり、課外活動団体会議というものを削除している。最後に附則である。全体の説明は以上である。

○近藤 拓未（議長）

それではただいまから質疑応答に移る。19時45分まで資料確認および質疑応答の時間とする。質問等がある方は手を挙げてほしい。

訂正する。19時55分まで、質疑応答および資料確認の時間とする。質問等ある方は手を挙げてほしい。出席がまだ確認されていない方は手を挙げてほしい。

それでは19時55分になるので、採決に移る。

採決の流れは省略

○近藤 拓未（議長）

開票する。本日現在の出席者数47名、表決数が41票、賛成が41票により、本議案は承認された。
では続いて議題3に移る。

新入生歓迎活動規定について、議案提出者の学内行事委員会委員長、國崎さんお願ひする。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

議案3の議案書をご覧いただきたい。こちらは筑波大学新入生歓迎活動規定の承認の是非を図るものである。資料は末尾番号01の筑波大学新入生歓迎活動規定の承認を求めるものであり、また資料の末尾番号02は昨年度の筑波大学新入生歓迎活動規定との新旧対照表で、参考資料であるので審議対象ではない。また、この規定は先ほど承認された申し合わせ第17条に基づいて定められている。私たちの議案説明は以上である。次に参考人の新入生歓迎委員会の方からどうぞ。

○近藤 拓未（議長）

新入生歓迎委員会、佐藤さん。

○佐藤 翔哉（新入生歓迎委員会）

わかりやすいのは新旧対照表、資料02があるので、そちらの方を併せてご確認いただきたい。

まず第1条について、元々現行案の方が法人規程というものが引用されていたが、こちら大学との協議の結果、法人規程などの上位規定は学生の規則に組み込まないということになったので、そちらの方を削除した。また目的の方も整理した。続いて第2条、対象である。こちらは申し合わせに合わせて記載した。続いて第3条である。第3条の方も先ほど可決いただいた申し合わせに合わせて修正をしている。続いて第4条、こちらは語句の修正である。第6条の方も、申し合わせに合わせた上で、項目を少し修正している次第である。第7条。こちらは大きな点であるが、元々昨年度は新入生歓迎祭の運営を学園祭実行委員会が行っていたので、申し合わせに合わせて変更した。また入学式から数えて、最初の土曜日に新歓祭を開催するというところも申し合わせに合わせて、変更している。続いて第8条である。第8条も学園祭実行委員会への申請という項目を削除している。続いて第11条は語句を改めている次第である。第13条は項目の修正である。この第13条第8項において、元々学内における指定場所以外での勧誘活動というものがあつたが、第10条、第11条に準拠する規定があるので、そちらの規定に反する行為と修正した。第15条は語句の修正である。第18条第1項は語句の修正である。第2項に関しては申し合わせの際に説明した通り、課外活動団体会議という字句を削除した。そして最後に附則である。以上である。

○近藤 拓未（議長）

はい。その他、質問等ある方は手を挙げてほしい。

質疑応答の時間を、訂正する。20時25分までに質問等がなければ、質疑応答を終了し採決を行う。

○趙 海清（比較文化学類）

資料の01の附則のところに関して、2つの附則のうち、1つ目は「令和6年の1月24日から施行する。」もう一つは「2025年1月22日から施行する」と、記入されているのだが、こちらに関して確認をお願いする。

○近藤 拓未（議長）

質問に対する回答を学内行事委員会委員長、國崎さんお願いする。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

ご指摘の通り、附則が2つあるのは間違いないと思われる。おそらくこの附則の令和6年というのは、2024年のことをしており、下が2025年の1月22日本日付を指している。要するにこちら改正されたものの、施行が本日付であるという文になっているはずである。

よって、改正された規定は、修正された上で附則というこの大きい文字を消すことが妥当かと思われるのだが、こちらで参考人、新入生歓迎委員会の認識は間違いないだろうか。

○近藤 拓未（議長）

新入生歓迎委員会様、お願いする。

○佐藤 翔哉（新入生歓迎委員会）

新入生歓迎委員会委員長の佐藤である。ご質問ありがとうございます。こちら附則については誤植である。おそらく実務担当の出力ミスであり、こちら附則の正しいものは「この規定は2025年1月22日から施行する。」というものである。新入生歓迎委員会としてはこの上の附則というものは元々消すつもりで、下側を追加するという形であったかと認識している。こちらの修正については議長に任せます。

○近藤 拓未（議長）

学内行事委員会、國崎さんお願いする。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

今のご説明で認識いただけますか。また、学内行事委員会としてもこちらで問題ないと判断するので、こちらが軽微な字句修正等に該当するのか議長の判断に任せたいと思う。

○近藤 拓未（議長）

はい、ありがとうございます。議長の近藤である。本修正については軽微な字句修正等に該当すると判断する。今後、本議題については二度目出てくる附則という項は消去されたものとして扱う。

その他、質問等がある方はいるか。20時18分までに挙手等がなければ質疑応答を終了する。

医学類、相川さん。

○相川 大醒（医学類）

質問というか確認なのだが、今、議長は附則のうちの下の方の附則の文字を消すとおっしゃっていたのだが、自分の認識だと先ほどの新入生歓迎委員会さんのおっしゃっていたことは、この附則、「本規則は令和6年1月24日から施行する」の部分を削除するということだと思っていたのだが、そうした解釈でよろしいだろうか。

○近藤 拓未（議長）

指摘ありがとうございます。2つある附則について、2つ目出てくる附則およびそれに付随する「この規定は2025年1月22日から施行する」という文言全体を取る。

○相川 大醒（医学類）

先ほど議長は、ここからの議論では、この附則という文字が2つあるうちの2つ目、一番下の方をないものとして話し合うというようなことをおっしゃっていたと認識しているのだが、先ほど新入生歓迎委員会の方がおっしゃっていたのは、この上半分の附則、「本規則は令和6年1月24日から施行する」の部分を削除するということだと認識していたのだが、いかがだろうか。

○近藤 拓未（議長）

こちらの認識間違いによるものである。申し訳ない。改めて確認をする。

（協議中）

はい。先ほどの医学類、相川さんからの質問について、回答が確認できたので学内行事委員会委員長、國崎さん、回答お願いする。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

先ほど私の発言では、2つ目の附則が不要で、「この規定が」といった話をしたと思うのですが。附則の文字の大きさをフォントサイズから見て、大見出しとしてこの個別独立した扱いをするのが妥当だと判断した。

よって、この附則のそれ自体は、誤植でも何でもなく、ただ附則が2つあるという状態の規定とするのが妥当という判断を学内行事委員会としては判断した。それぞれ独立したものとして扱うことが可能になる。よって、こちら2つは修正なしとして学内行事委員会は判断したいと思う。参考人の新入生歓迎委員会佐藤さん、そのような形でよろしいだろうか。

○佐藤 翔哉（新入生歓迎委員会）

学内行事委員会の判断で問題ない。

○近藤 拓未（議長）

それでは学内行事委員会および新入生歓迎委員会からこちらについて修正をしないのが妥当であるという認識が得られた。議長としても、修正すべき事項はないとし、現在、議長判断は、このまま修正せず、先ほどの議長判断はなかったものとする。回答になっているだろうか。

○相川 大醒（医学類）

その場合、この末尾が02の資料の方には、新旧対照表は附則の部分には修正版は「本規程は」となっており、01番の方は、この表記はなくなっているのだが、これはどちらに統一、どちらが正しいものとされ

るだろうか。また、上の附則と下の附則の表記の仕方のずれ、令和6年と2025年と、この辺りの統一もした方がいいと思われるが、いかがだろうか。

○近藤 拓未（議長）

学内行事委員会委員長、國崎さんお願ひする。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

まず1つ目の質問について、資料の末尾番号02の方の参考資料についてだが、こちらは附則の変更ではなく、その追加という形に統一させていただく。よって末尾番号01の方に統一がなされるという認識でお願いしたく存じる。

2つ目なのだが、令和6年と2025年という西暦と和暦の表記の揺れについてなのだが、これまでの作成の過程を踏まえてこのような記載になっているので、私の方からは、この場での修正は必要ないと判断する。こちらの認識で相違はないか。

○近藤 拓未（議長）

新入生歓迎委員会佐藤さん、お願ひする。

○佐藤 翔哉（新入生歓迎委員会）

附則については追加をしているので、その認識で全く問題ない。

○近藤 拓未（議長）

その他、質問等がある方はいるか。議事進行の都合上、20時40分には質疑応答を締め切る。20時32分までに挙手がなければ、質疑応答を終了し、表決に移る。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

質疑応答の途中だが修正するべき可能性のある事項が見つかり、確認しているので少々お待ちいただきたい。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

先ほどの発言について、確認が取れたのでご説明させていただく。末尾番号01、第13条をご覧いただきたい。こちら「新歓活動における禁止事項」とすべきところを、「勧誘活動における禁止事項」と記載してしまっていると思われる。勧誘活動という活動はない。下のその下の方についても、新歓活動においてという説明がなされている。よって、この第13条の勧誘活動における禁止事項ではなく、新歓活動における禁止事項とするのが妥当だと判断し、修正を行いたいと思って考えている。

こちらについて、まず参考人の新入生歓迎委員会の方は、こちらの認識で相違ないか確認させていただきたい。

○近藤 拓未（議長）

新入生歓迎委員会佐藤さん、お願ひする。

○佐藤 翔哉（新入生歓迎委員会）

新入生歓迎委員会委員長の佐藤である。そちらの点に関しては誤植だと思われる所以、國崎さんの通り修正していただきたい。

○近藤 拓未（議長）

学内行事委員会委員長。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

参考人の新入生歓迎委員会の方から同様の認識だということを確認できたので、こちらが軽微な修正に該当するか議長に判断していただきたい。

○近藤 拓未（議長）

こちらの修正について、議案書の通り、議案の趣旨に反しない体裁および字句修正と判断する。第13条の見出しにおける「勧誘活動」と表記されている部分は「新歓活動」と表記されているものとして今後は扱う。また表決等においてもそのような修正、新歓活動と書いてあるものとして、本議案を扱う。

○近藤 拓未（議長）

その他、質問等ある方は手を挙げてほしい。20時39分までに挙手等がなければ、質疑応答を終了し採決に移る。

○近藤 拓未（議長）

39分になって、挙手等がないようなので質疑応答を終了する。採決に移る。

○近藤 拓未（議長）

学類代表の皆様は表決をお願いする。表決等が行えない、表決フォームが確認できないなどがあったら、挙手等をお願いする。

投票の流れは省略

○近藤 拓未（議長）

現在の出席者数が45名、投票が42票、賛成が40票、保留が2票で、本議案は承認された。

では新入生歓迎委員会の関連する議題が全て終了したので、新入生歓迎委員会の方は退出していただいて構わない。

また全ての議題が終了したので、第七回本会議をこれにて閉会する。

○近藤 拓未（議長）

委員会報告を手短にお願いしたい。各委員会の委員長は前に来てほしい。

○吉川 梢（国際特別委員会）

現在、委員会のプロジェクトはそれぞれ進めている。次回のミーティングは明日である。

○相馬 弥生（新入生歓迎特別委員会）

来週、1月29日（水）に新歓ネット説明会を行う。こちら開催場所が変わった。グローバルヴィレッジのコミュニティスペースになったので、ご注意いただきたい。また、明日はミーティングがある。会議室で行う。ぜひ参加してほしい。

○**澁谷 耕大**（情報処理推進特別委員会 委員長）

情報処理推進特別委員会委員長の澁谷である。UNTIL.LT #0x06 を 2/1（土）に開催予定であるので興味ある方はぜひご覧いただきたい。

BRIDGE を仮リリースした。スマホで見た際にデザインが崩れるなどの問題があるが、今後改良していく。

○**國崎 沙和子**（学内行事委員会 委員長）

3つの提案の承認をいただきありがとう。今後、新歓祭開催後もおそらく報告されると思うので、そのときは何卒よろしくお願ひする。来週はミーティングがある。体調に気をつけてほしい。

○**近藤 拓未**（議長）

長時間ありがとう。

以上、総務委員会作成